

復元作業

街区基準点が、工事で支障となった場合、撤去後、復元する方法は次のとおりです。

・確保すべき水平位置の精度は10mm以内、標高の精度は30mm以内です。

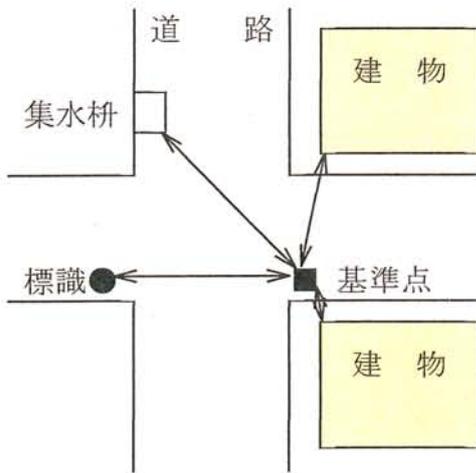
- 特徴
- ・工事作業により元の位置に復元する
 - ・高精度な測量機器を使用しないで復元できる。
 - ・公共測量等の手続きが必要ない。

復元の方法		摘 要
水 平 位 置	構 造 物 引 照 法	引照点の設置は行わず構造物(3点以上)を引照点とみなし、構造物と街区基準点との水平距離を測定する方法
	水 系 法	水系を用いて街区基準点の上で十字の交点となるように引照点を設置し、交点と同じ位置となるよう標識を復元する方法
	放 射 法	街区基準点と視通のある任意の地点に角測定を行うための引照点と角測定で零方向となる引照点を設け、街区基準点までの水平角観測及び距離測定を行う方法
	レーザー法	水系の代わりにレーザー基準出し器を用いる方法
	T S 法	水系の代わりにトータルステーション又はセオドライトを用いる方法
標 高 (必要な場合)	街区基準点からの引照点(2点以上)の高低差を測定して確認する。 30mm以内の変化であれば、標高の更新を省略できる。	

占用対象となっている公共物の安全のためには、原則同一平面とすべきであり、工事の内容を事前に把握して、工事による復元の判断をするべきであるため、事前に都市政策課まで御相談ください。

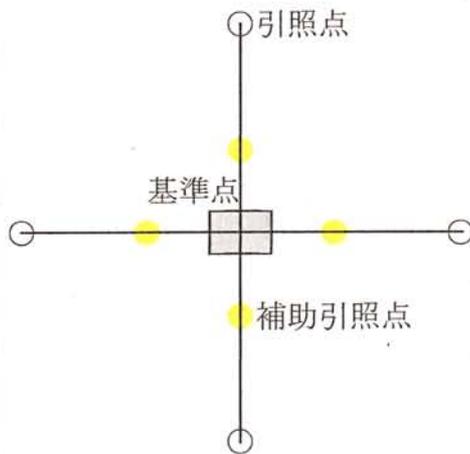
街区基準点付近で工事をされる場合は事前に都市政策課まで御相談ください。

① 構造物引照法



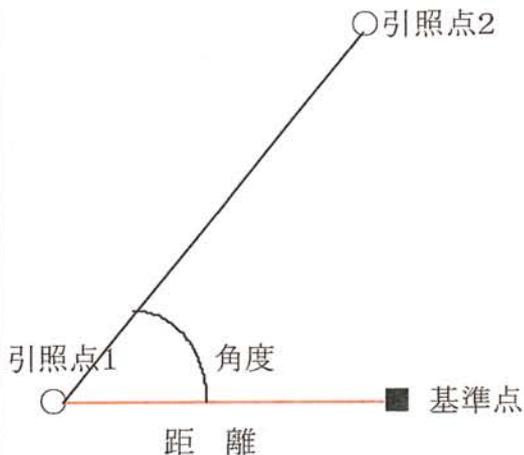
1. 付近の構造物から基準点までの距離を巻き尺で測る
2. 標識を撤去する
3. 工事の一環で、構造物からの距離に基づき元の位置に標識を設置する

② 水系法(X型)



1. 引照点間に張った水系が基準点上を通るよう引照点を設置する
2. 1で設置した引照点を結ぶ直線に直行する方向に引照点を設置する
3. 標識を撤去する
4. 工事の一環で、引照点に基づき元の位置に標識を設置する

③ 放射法



1. 引照点1及び2を設置する
2. 引照点1にトータルステーションを設置し、引照点2と基準点の角度及び基準点までの距離を測量する
3. 標識を撤去する
4. 工事完了後、測量により距離と角度をもとに復元する

標識（街区三角点）の設置

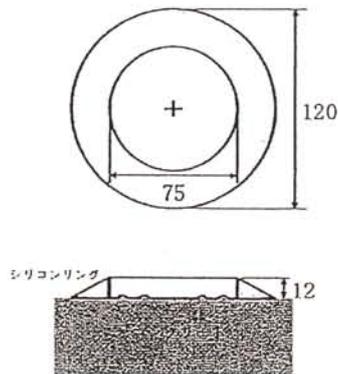
1. 標識の設置の要件

- ・ 標識は、良好な維持管理を行うため、設置場所の状況に応じて埋設する。
- ・ 道路上に設置する場合は、交通の障害にならないよう措置する
- ・ 標識の設置は、原則として観測前に行う。
- ・ 標識表面は原則として地上には出さず地表と同じ高さにする。
- ・ 標識は南から見て文字が読める方向に設置する

2. 標識の埋設（単位：mm）

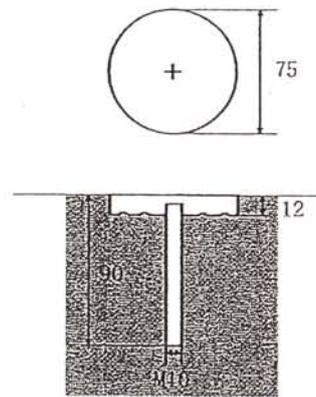
① 屋上埋設

- ・ 建築物屋上に、金属標を接着剤で固定する



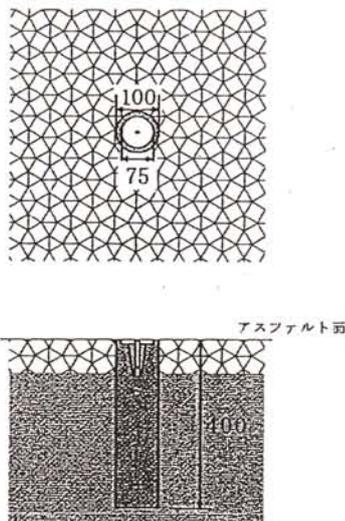
② コンクリート構造物埋設

- ・ コンクリート構造物を掘削し金属標を接着剤で固定する



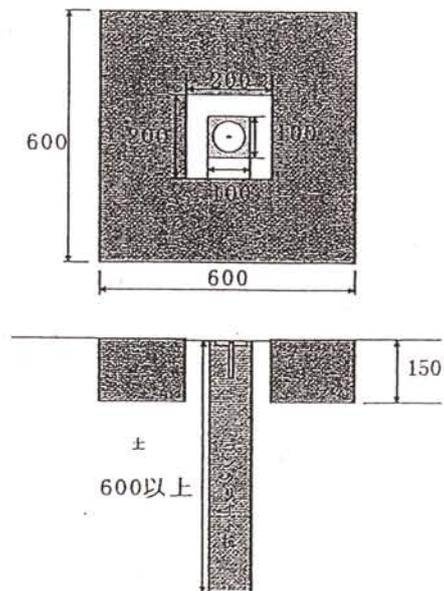
③ アスファルト埋設

- ・ アスファルトおよびその地盤を掘削し、コンクリート柱を埋設する。
- ・ 標識表面は地表と同じ高さにする。



④ 地下埋設

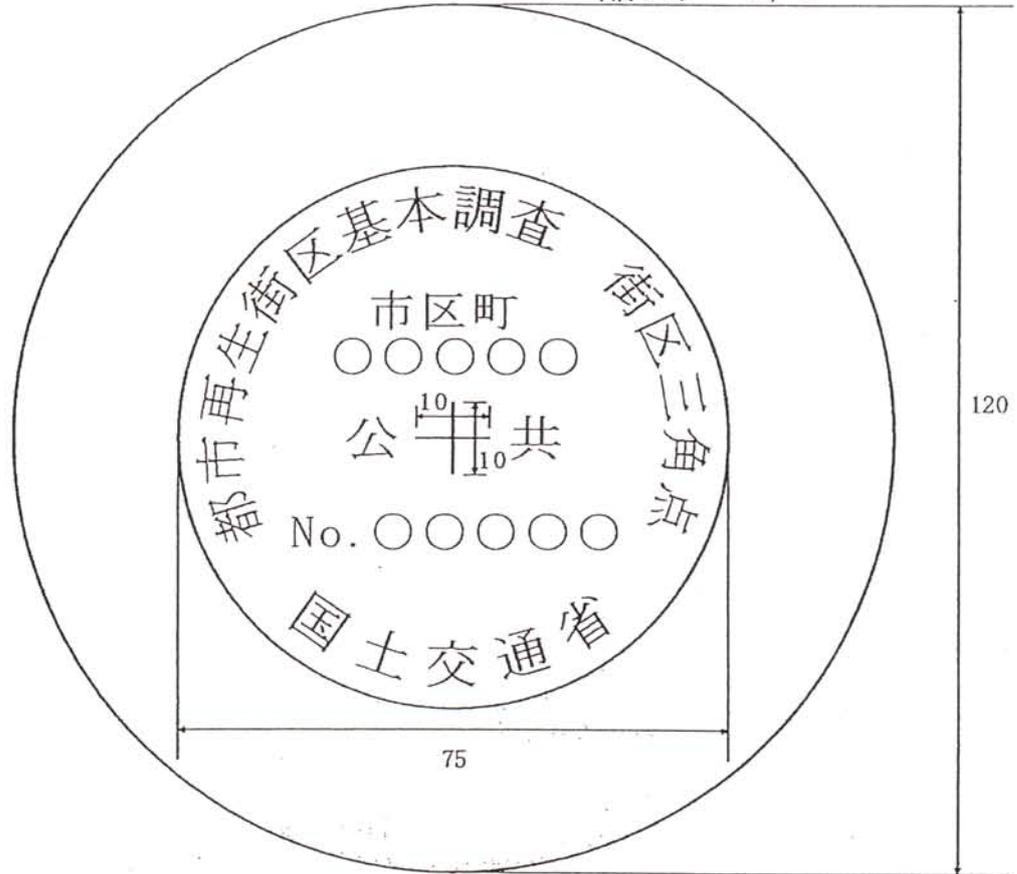
- ・ 標識の保護および草木の繁茂を防ぐため、上面舗装を施す。
- ・ 上面舗装表面は地表と同じ高さにする。標識表面は地表と同じもしくは数ミリ低くする



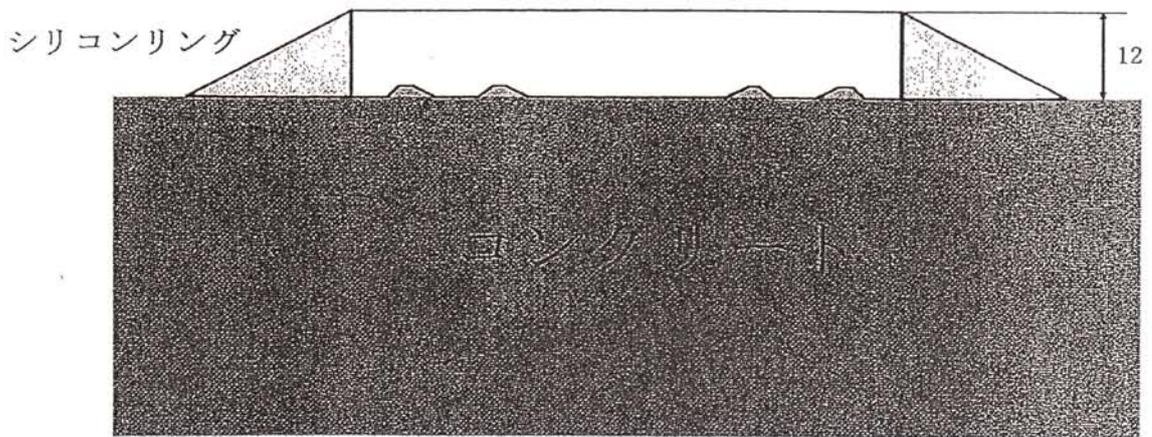
金属標 街区三角点
埋設図① (屋上)

単位 : mm
縮尺 : 1/1

平面図



断面図



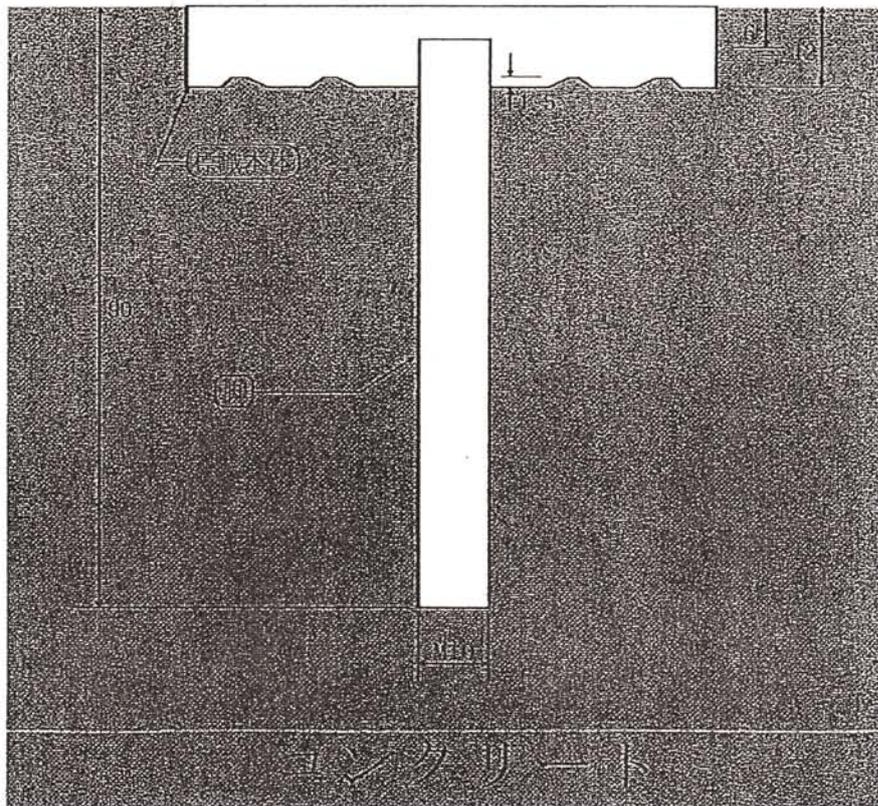
金属標 街区三角点 埋設図② (コンクリート構造物)

平面図

単位 : mm
縮尺 : 1/1



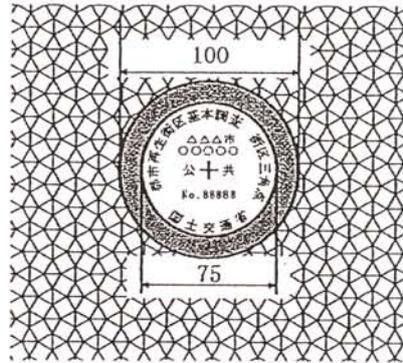
断面図



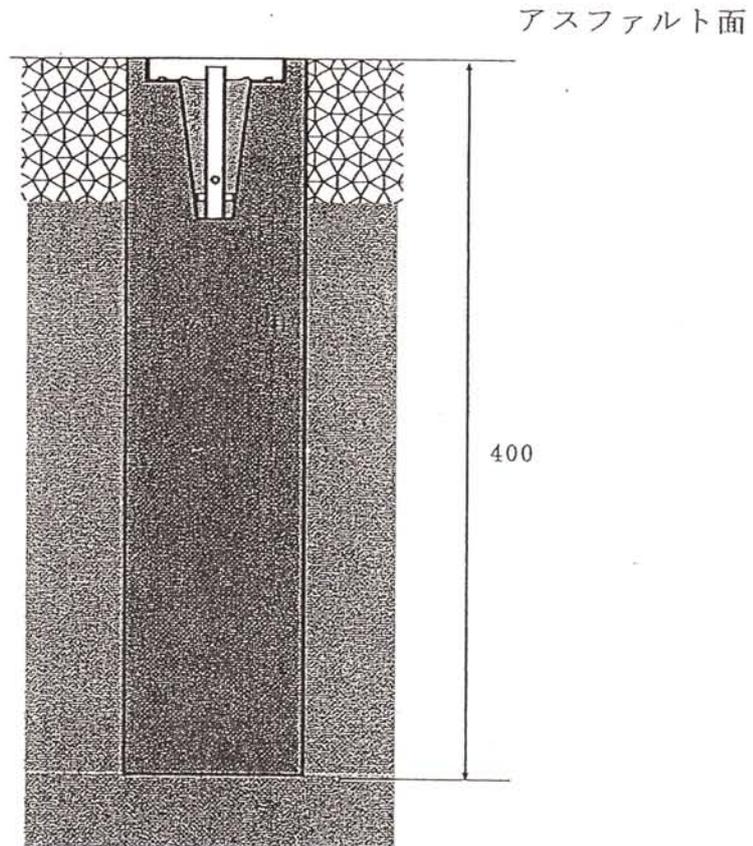
金属標 街区三角点
埋設図③ (アスファルト道路：歩道等)

平面図

単位 : mm
縮尺 : 1/4



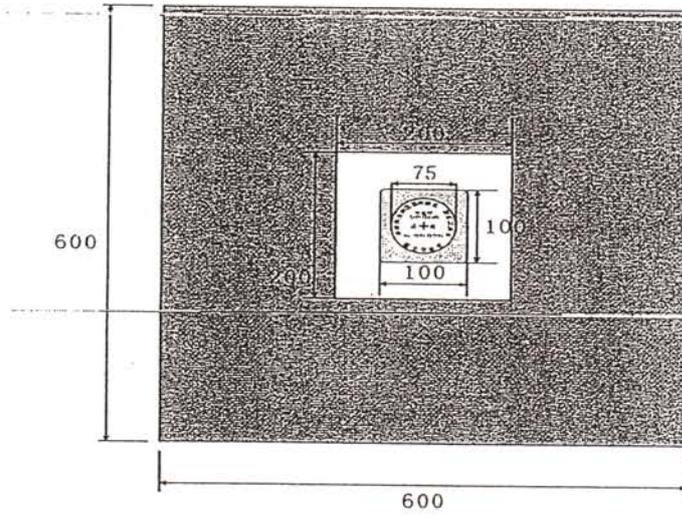
断面図



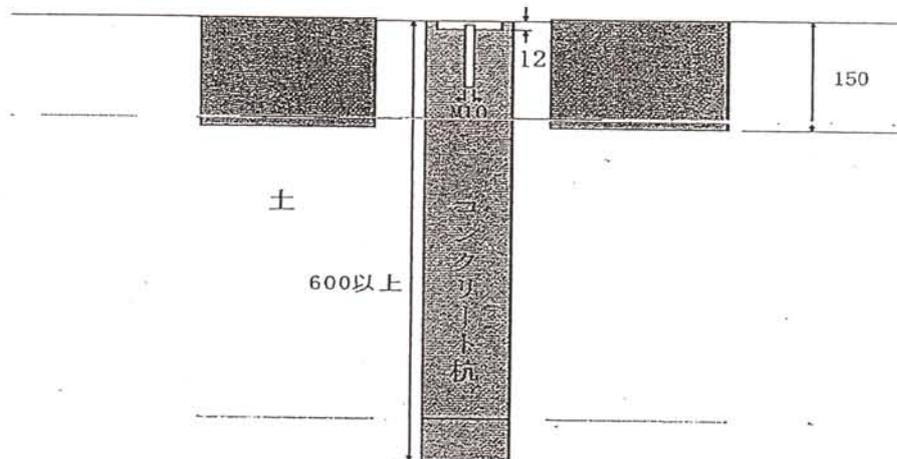
金属標 街区三角点
埋設図④ (地下)

単位 : mm
縮尺 : 1/8

平面図



断面図



- ・脚および横棒は鉄製とする
- ・標識本体と脚の部分との接合はネジ式とする
- ・横棒は脚に着脱可能な形式とする

標識（街区多角点）の設置

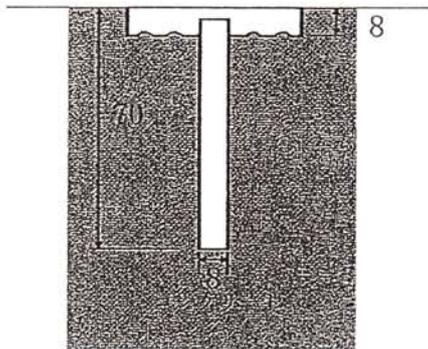
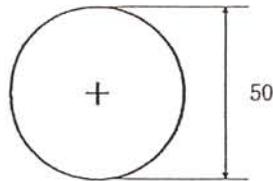
1. 標識の設置の要件

- ・ 標識は、良好な維持管理を行うため、設置場所の状況に応じて埋設する。
- ・ 道路上に設置する場合は、交通の障害にならないよう措置する
- ・ 標識の設置は、原則として観測前に行う。
- ・ 標識表面は原則として地上には出さず地表と同じ高さにする。
- ・ 標識は南から見て文字が読める方向に設置する

2. 標識の埋設（単位：mm）

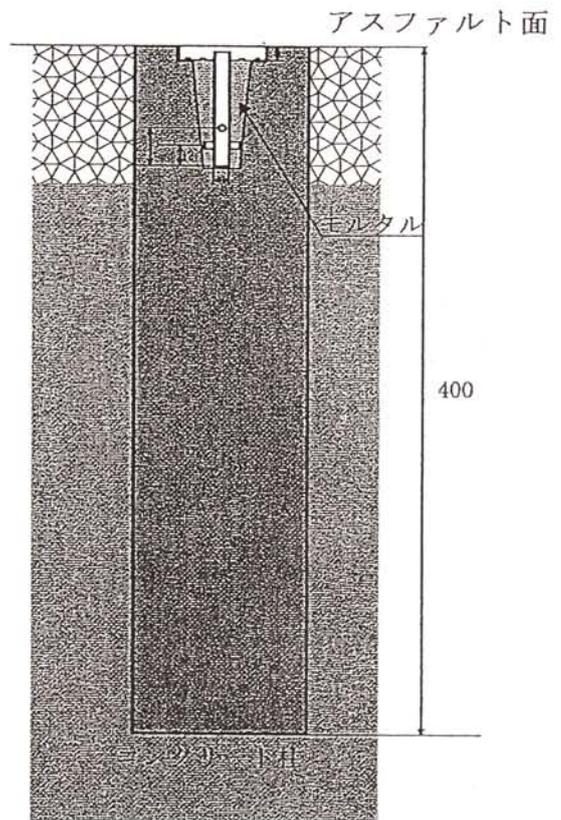
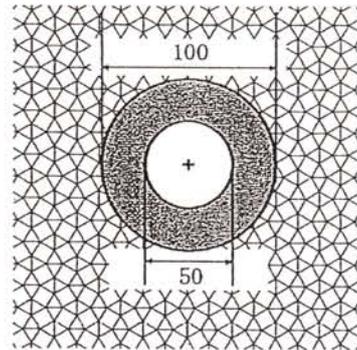
① コンクリート構造物埋設

- ・ コンクリート構造物を掘削し金属標を接着剤で固定する



③ アスファルト埋設

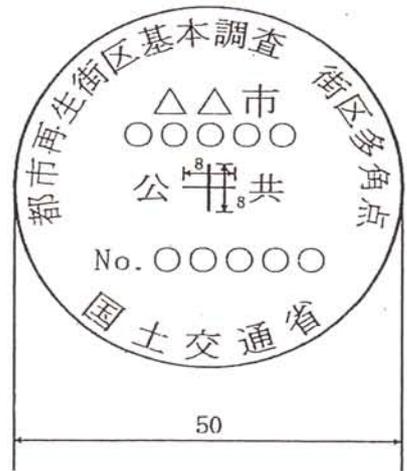
- ・ アスファルトおよびその地盤を掘削し、コンクリート柱を埋設する。
- ・ 標識表面は地表と同じ高さにする。



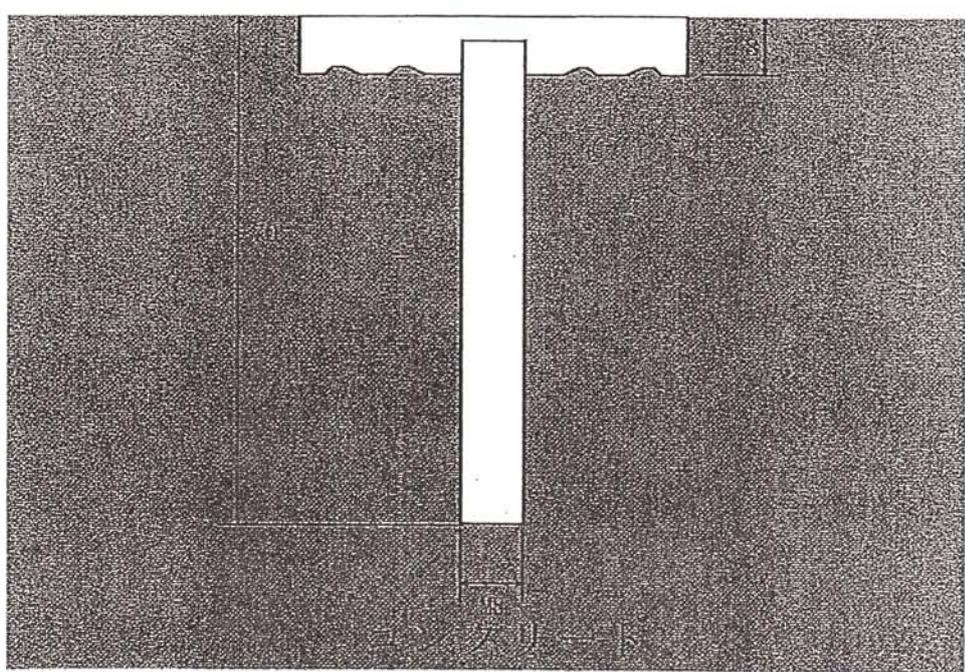
金属標 街区多角点 埋設図① (コンクリート構造物)

平面図

単位 : mm
縮尺 : 1/1



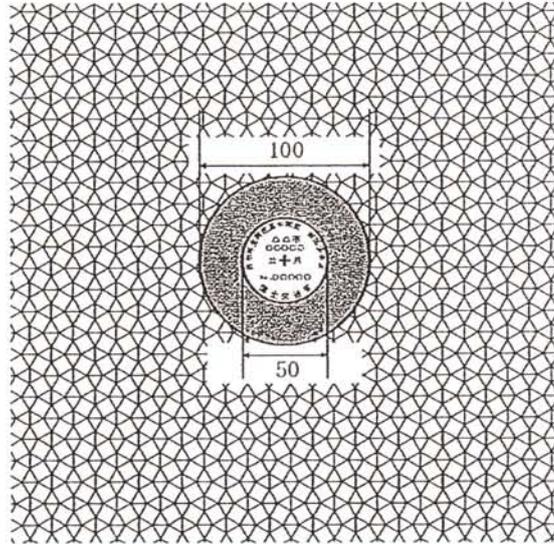
断面図



金属標 街区多角点
埋設図② (アスファルト道路：歩道等)

平面図

単位：mm
縮尺：1/4



断面図

アスファルト面

